

# 松本児童相談所一時保護所個室化改修工事 設計図

## 図面リスト

図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書(1)
A-02	特記仕様書(2)
A-03	配置図・案内図
A-04	仕上表・平面図
A-05	平面詳細図
A-06	展開図・部分詳細図・建具表
E-01	電気設備 特記仕様書
E-02	電気設備 平面図
M-01	機械設備 特記仕様書
M-02	機械設備 平面図

 長野県 松本児童相談所

**SFD** 株式会社三友ファシリティーズデザイン



① ガラス [3, 7] [5, 12, 2~4] [表 5, 13, 1]

・合わせガラス		
品種	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類
・網入磨き合わせガラス	・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・II-1類・II-2類 ・III類
・強化ガラス		
材料板ガラスによる種類	種類	性能
○フロートガラス	○フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・型板強化ガラス	・I類・II類
・型板ガラス		
・熱線吸収板ガラス		
品種	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス	・1種・2種	・ブルー・グレー・ブロンズ
・複層ガラス		
品種	断熱性	日射熱減へい性
・断熱複層ガラス	・1種 ・2種 ・3種	U1 U2 U-3-1・U-3-2
・日射熱減へい複層ガラス	・4種 ・5種	E4 E5
・熱線反射ガラス		
品種	日射熱減へい性	耐久性
・熱線反射ガラス 色調(・ブルー・グレー) ・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ・シルバー)	・1種 ・2種 ・3種	A類 B類
反射被覆面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う		
・高強度ガラス		
材料板ガラスによる種類の名称	色調	
・フロート高強度ガラス ・熱線吸収高強度ガラス	- ・ブルー・グレー・ブロンズ	
ガラスの留め材及び溝の大きさ		
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
・アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※改修標準仕様書表5.13.1による ・図示
・鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※改修標準仕様書表5.13.1による ・図示
・ステンレス製	・シーリング材	※改修標準仕様書表5.13.1による ・図示

6 内装改修工事

① 改修範囲 [6, 1, 3]

既存切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲  
 ※ 壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う ・ 図示  
 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲  
 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う ・ 図示  
 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修  
 ※ 既存のまま ・ 図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6, 2, 2]

ビニルシート等の除去 ※ 仕上げ材のみ(接着剤とも)  
 ・ 下地モルタルとも(・ 図示の範囲・除去範囲全て)  
 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目出し工法  
 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4倍外壁改修工事による。  
 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修箇所の室内 ・

③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6, 3, 2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修  
 ※改修標準仕様書表4.4.9によるモルタル塗り  
 (塗り厚25mmを超える場合の補修 ・ 行う ・ 行わない)  
 ・ 図示

④ 木下地等の表面仕上げ [6, 5, 1]

表面仕上げの種類 適用箇所

○A種	
-B種	
-C種	

⑤ 製材 [6, 5, 2]

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
			※2級・		※A種・B種	・
			※2級・		※A種・B種	・
			※2級・		※A種・B種	・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
見え掛り面			※ 上小節		※A種・B種	・
見え掛り面以外			※ 小節以上		※A種・B種	・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

等級	含水率
※1等・	※10%以下
※1等・	※10%以下

⑥ 造作用集成材 [6, 5, 2]

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材質の品質	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
			( )			※A種・B種	・

・代用樹種を使用できない箇所 ( )

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
窓枠				・
			※1等・2等	・
			※1等・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	・

⑦ 造作用単板積層材 [6, 5, 2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級)	・	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等の適用
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し( )	・	※14%以下	・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

・普通合板 [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	表面の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※5.5	※1類	広葉樹 ※2等以上	※1等	・	・
	※5.5	※1類	針葉樹 ※C-0以上	※1等	・	・

・構造用合板 [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	裏板の樹種名	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理の適用	強度等級	間伐材等の適用
	※12	※2級以上	※1類	※0-0以上	・特類	・	・	・	・指定する( ) ・指定しない

・パーティクルボード [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	※15	・	※13タイプ	※P又はM	・

・構造用パネル [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	等級
	※15	・1級・2級・3級・4級

⑧ 床張り用合板等 [6, 5, 2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

・普通合板 [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	表面の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※5.5	※1類	広葉樹 ※2等以上	※1等	・	・
	※5.5	※1類	針葉樹 ※C-0以上	※1等	・	・

・構造用合板 [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	裏板の樹種名	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理の適用	強度等級	間伐材等の適用
	※12	※2級以上	※1類	※0-0以上	・特類	・	・	・	・指定する( ) ・指定しない

・パーティクルボード [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	※15	・	※13タイプ	※P又はM	・

・構造用パネル [6, 5, 2]

施工箇所	厚さ(mm)	等級
	※15	・1級・2級・3級・4級

⑨ 接着剤 [6, 5, 3, 4] [6, 8, 2] [6, 9, 3] [6, 11, 4, 5]

接着剤は可塑剤(難燃性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。  
 ホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・  
 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類  
 ・ 図示

⑩ カーペット敷き [6, 9, 3, 4] [表 6, 9, 1]

・ 敷きかた [6, 9, 3, 4] [表 6, 9, 1]

種類	バイル形状	敷き方	色柄等	帯電性	備考
・A種	・かたハケ	・ウレタンハケ	・無地	・帯電性	・適用しない
・B種	・かたハケ	・クッションハケ	・柄物	・帯電性	・適用しない
・C種	・かた、ハケ併用	・クッションハケ	・柄物	・帯電性	・適用しない

下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ タフテッドカーペット

バイル形状	h'体長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・h'ハケ	・5~7	※全面接着工法 ・クッション工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kV以下)	・適用しない
・h'ハケ	・4~6			
・h'ハケ	・4			
・かた、ハケ併用				

下敷き材(グリッター工法の場合)  
 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ニードルパンチカーペット  
 厚さ(mm) (4,0)  
 帯電性 ・適用する(性能: ※人体帯電圧3kV以下)  
 ・適用しない  
 備考( )

○タイルカーペット

種類	種類	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	

タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き・横線流し  
 階段部分 ※横線流し・市松敷き  
 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等) ※図示  
 ・適用しない

⑪ フローリング張り [6, 11, 2~7]

単層フローリング [6, 11, 2~7]

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	※なら	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
		※なら	12以上	板幅75 板長さ300以上		・
		※なら	12以上	板幅75 板長さ300以上		・
・フローリングブロック1等 ・モザイクパーケット1等	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・

複合フローリング [6, 11, 2~7]

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種類	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
○天然化粧複合フローリング	・釘留め工法(根太張り) ○釘留め工法(直張り)	※なら	・A種 ・B種 ・C種	○適用する ○適用しない	○塗装品 ○無塗装品	・	・
	・接着工法	※なら	板厚 ・8以上 板幅 ・75以上 板長さ 900以上			・	・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外  
 接着工法の場合の裏面保護材 ※合成樹脂発泡シート  
 現場塗仕上げ ・ 行う(施工箇所)  
 ※ウレタン樹脂ワニス塗り  
 ・ オイルステインの上、ウケ塗り  
 ・ 生地のままウケ塗り  
 ・ 行わない

⑫ セッコロボード その他のボード張り [6, 13, 2, 3]

種類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
○けい酸カルシウム板	0,8FK	タイプ2(無石綿)○6・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9(不燃)・12(不燃) ) ・凹凸タイプ (・12(不燃)・15(不燃)・19(不燃) )
・ロックウール吸音板*1号	RB-B	・25
・グラスウール吸音板*1号32K	GB-B	・25(凹凸タイプ)
○せっこうボード	GB-R	・12.5(不燃)・15(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	・9.5(不燃)・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃)幅 440mm程度 模様(・ 藍目・ 藍目) 専用下地材有り
・化粧せっこうボード(1ヶ所模様)	GB-D	9.5(準不燃)

・普通合板 [6, 11, 2~7]

表面の樹種	生地の透明塗料塗り	生地の不透明塗料塗り	板面の品質	接着の程度
・	・(※ラワン程度)	・(※しな程度)	( )	( )
・	・	・	・	・

⑬ 壁紙張り [6, 14, 2, 3]

せっこうボード等の下地は図示による。  
 遮音シート材 ・適用する(・シーリング材・ジョイントコンパウンド)  
 ・適用しない  
 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量  
 ※規制対象外 ・  
 合板類の張付け ※B種・A種  
 せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による ・ 廊下天井部分は目地処理工法

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

施工箇所	壁紙の種類				防火種別	備考
	紙	繊維	フラスカ	無織質		
	・	・	○	・	※不燃・準不燃	・
	・	・	・	・	※不燃・準不燃	・
	・	・	・	・	※不燃・準不燃	・
	・	・	・	・	※不燃・準不燃	・

モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種  
 コンクリート・ALC面の下地調整 ※RB種  
 せっこうボード面の下地調整 ※RB種

⑭ 材料 [7, 1, 3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量  
 ※ 規制対象外 ・  
 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。(箇所: )  
 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )

⑮ 下地調整 [7, 2, 1~7]

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲  
 ※塗替え面積の30% ・ 図示

下地調整

下地の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※RB種	・RA種・RB種	・
鉄鋼面	※RB種	RA種	
垂れめっき面	※RB種	RA種	
垂れめっき面(鋼製建具)	※RB種	RC種	
モルタル、プaster面	※RB種	・RA種・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面(OP以外)、ALCパネル面	※RB種	RA種	・行う ・行わない
コンクリート面(OP)、押出成形セメント板面	・	RA種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種	・RA種・RB種	-

⑯ 塗装

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
○合成樹脂塗料(セメント系) 塗料の種類 ※1種・2種	木部屋外	※B種	・A種
	木部屋内	※B種	・A種
	鉄鋼面	※B種	・A種
	垂れめっき鋼面(鋼製建具)	※B種	・A種
	垂れめっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	・A種
○クリヤラッカー塗り(OL)		※B種	・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		-	-
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	※B種	・A種	・A種
・耐候性塗料塗り(OP)	鉄鋼面 上塗り等級( )級 垂れめっき鋼面 上塗り等級( )級	・	A種
	コック面及び押出成形セメント板面	・	・A-2種
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-6)	コック面等	※B種	・A種
	屋内の木部	※B種	・A種
	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種
	屋内の垂れめっき鋼面	※B種	・A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種	・A種
・合成樹脂エマルジョン撥水塗料塗り(EP-T)		※B種	・A種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	・A種
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種	・A種
・オイルステイン塗り(OS)		-	-
○木材保護塗料塗り(PP)		※B種	・A種

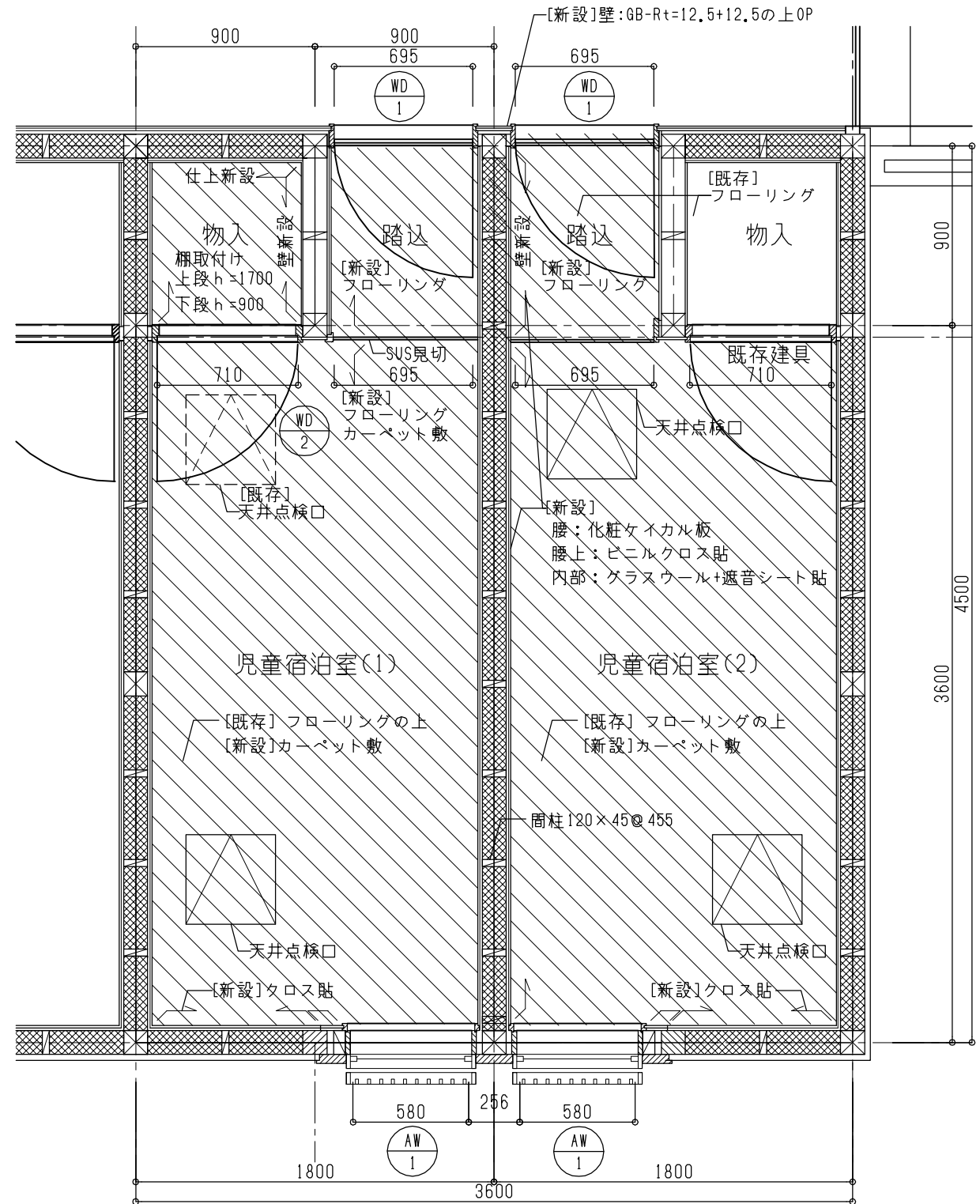
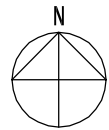
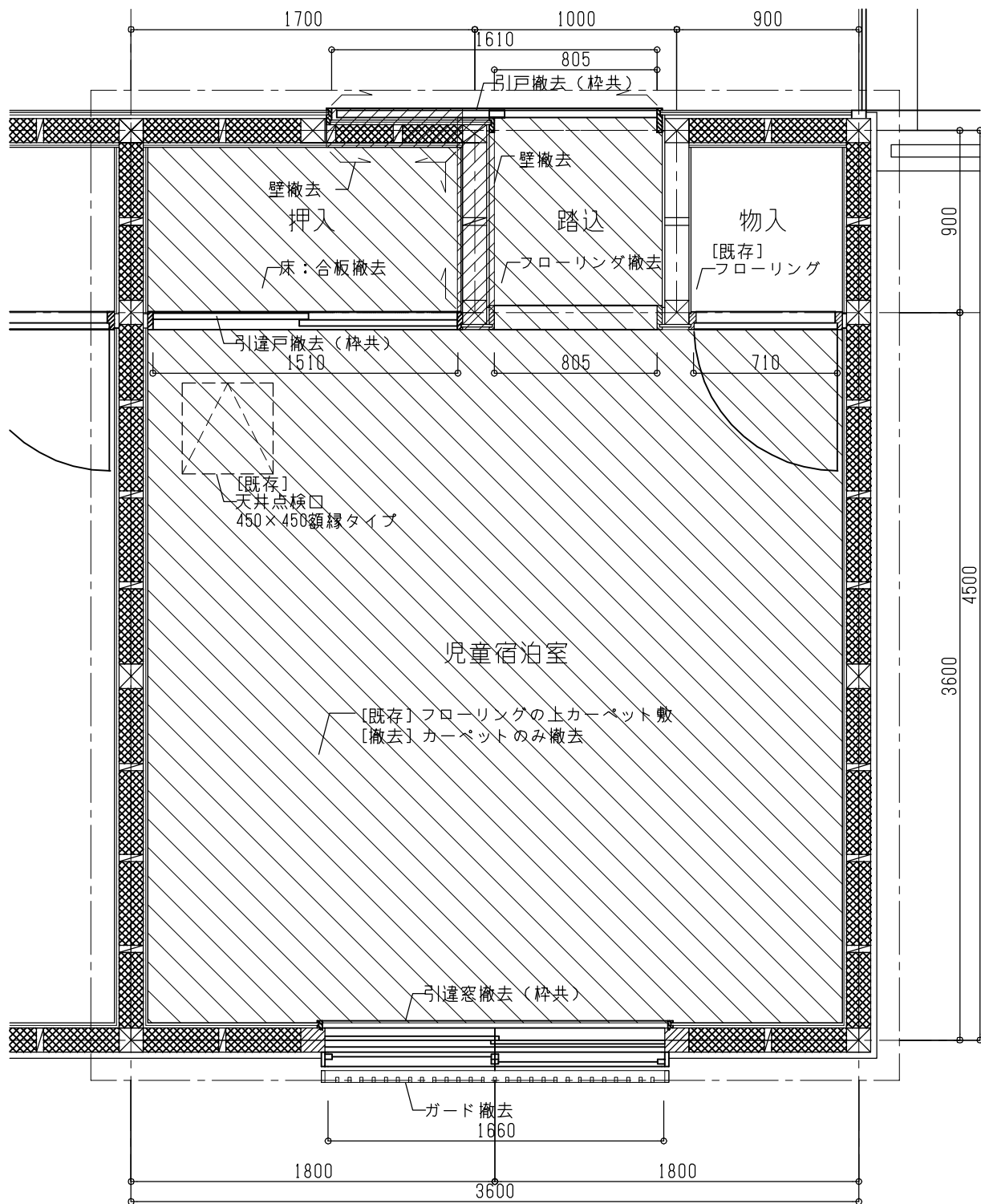
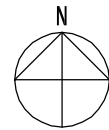
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コック面、鉄鋼面、フラスカ面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしめ  
 ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りとしめ止めシーラーとする  
 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め  
 ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りとしめ止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り [6, 14, 2, 3]  
 下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ・RA種・RB種・RC種

工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量
					(kg/m <sup>2</sup> )
塗料塗り	JISK5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による



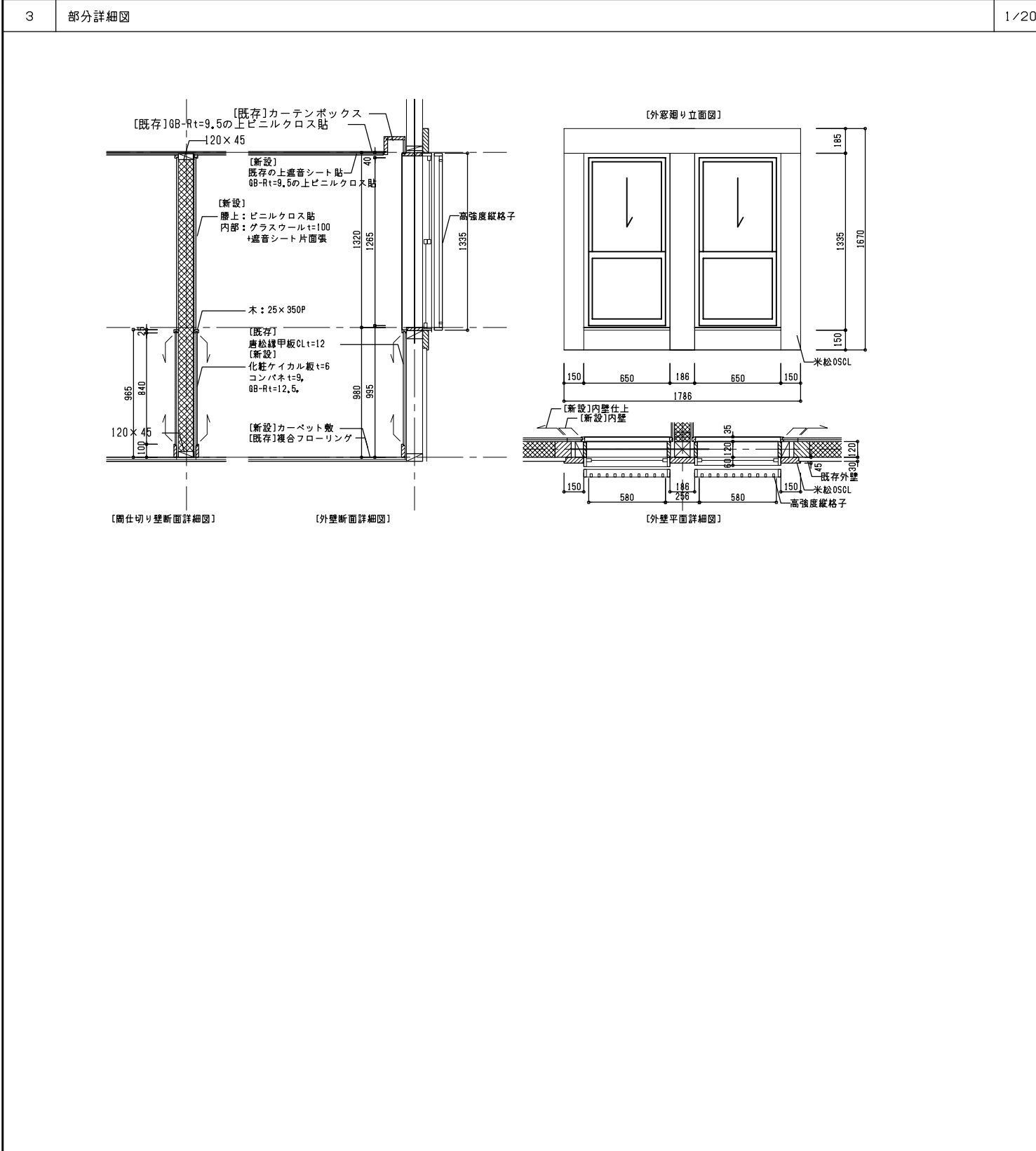
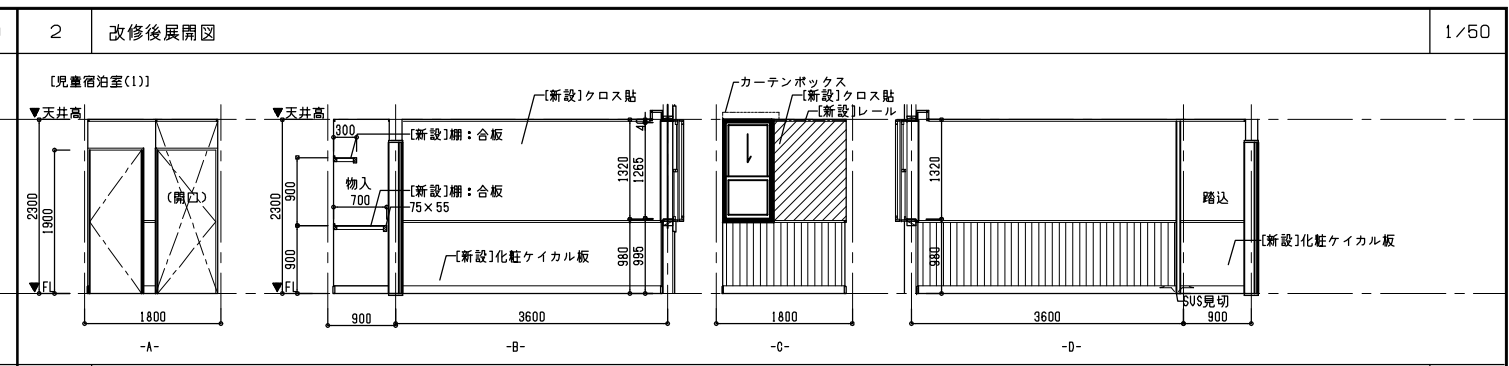
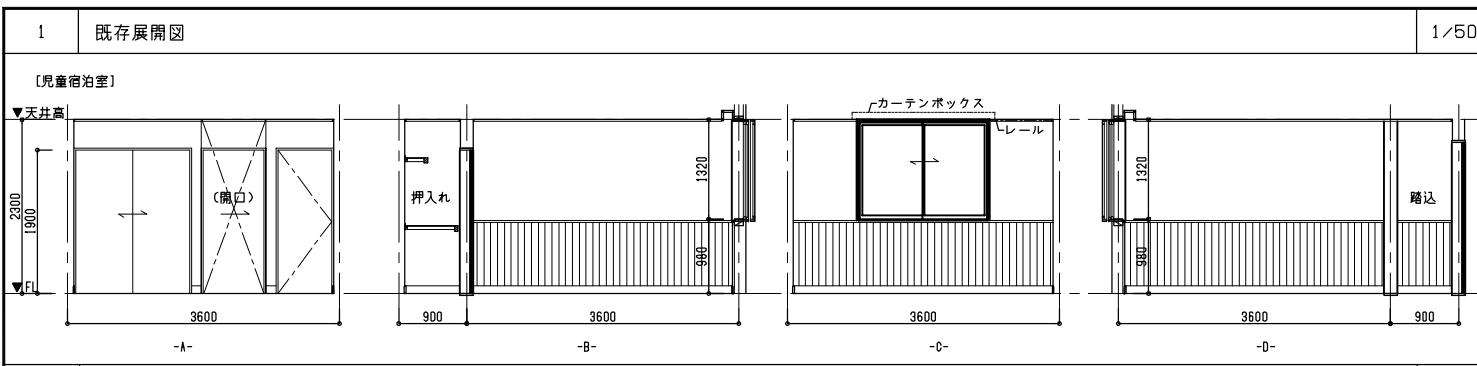




凡例  
 壁:グラスウール100mm 24kg  
 天井点検口新設(3箇所) 450x450額縁タイプ

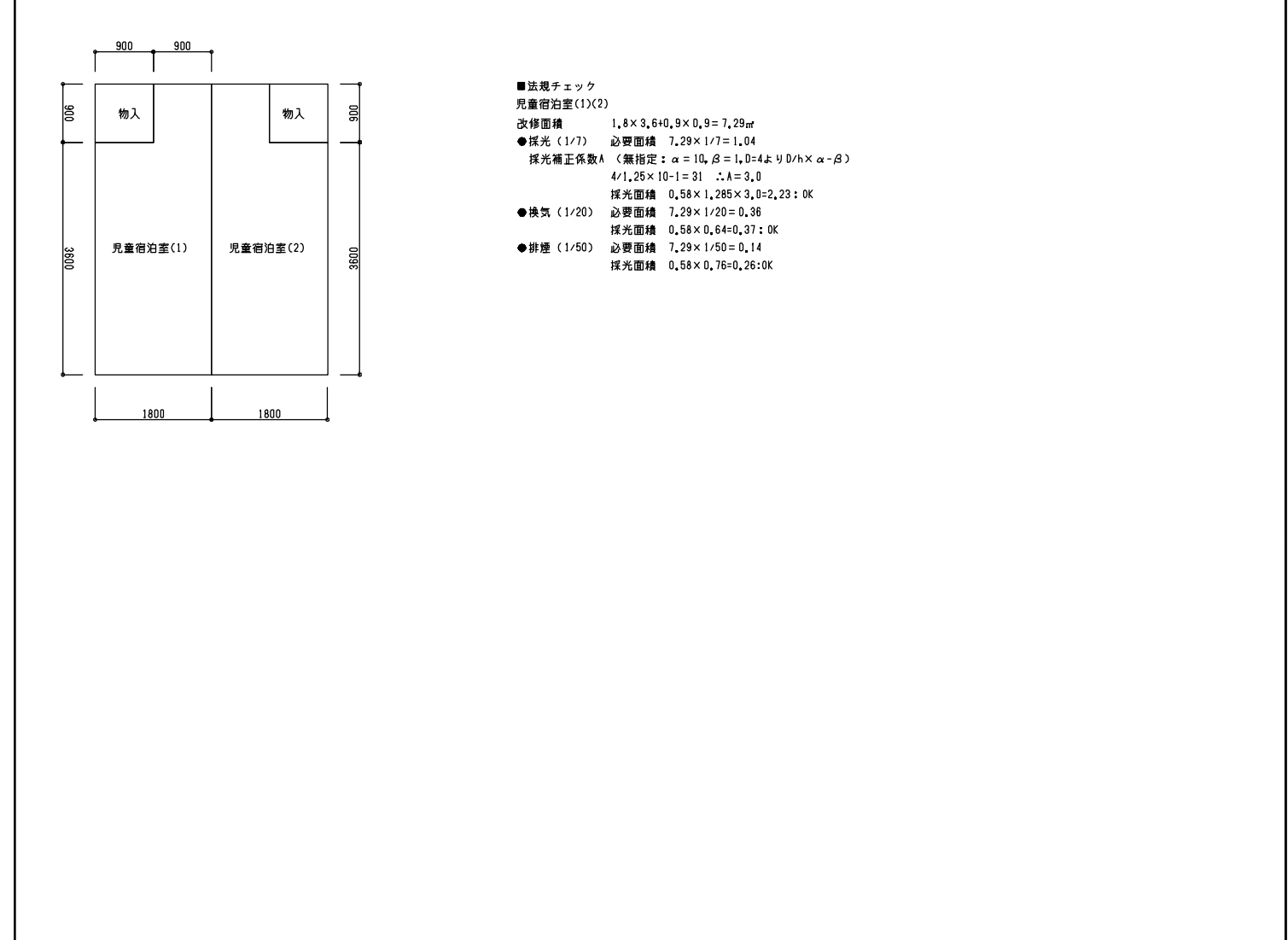
展開記号  
 A B C D

特 記	1. 訂正	1. 松本児童相談所 第272762号 野坂 英史	<b>SFD</b> 株式会社 <b>三好ファシリティーズデザイン</b> 本社:1 長野県上田市南原 (20本) 4番3125号 松本市 1 松本児童相談所 第212860号 丸山 功 〒390-0642 長野県松本市紅雲野二丁目10番10号 TEL.0263(88)7548 承認 設計体制及び検査 設計完了日 丸山 丸山 野坂 野坂 2020.10	工事名 松本児童相談所一時保護所個室化等改修工事 図面名 平面詳細図 縮尺 JOB No. S20056D 図面番号 A- 5
	2.			
	3.			
	4.			
	5.			
	6.			
	7.			



4 建具表 1/50

符号	型式・数量 使用箇所	仕様	材種・見込	仕上	硝子	金物	付属品	備考
①	上げ下げ窓+高強度縦格子 児童宿泊室(1)、児童宿泊室(2) 2ヶ所	片開き戸 児童宿泊室(1)、児童宿泊室(2) 2ヶ所	木種: OPツツヤ消し 見込 36	アルミ(住宅用半外付け) 見込 60	ポリエスチル化粧合板フラッシュ OP	水切、クレセント、他一式	レバーハンドル、丁番、サムターン、DC、他一式	アルミ高強度縦格子付
②	片開き戸 児童宿泊室(1) 1ヶ所	片開き戸 児童宿泊室(1) 1ヶ所	木種: OPツツヤ消し 見込 36	ポリエスチル化粧合板フラッシュ OP	ポリエスチル化粧合板フラッシュ OP	レバーハンドル、丁番、サムターン、DC、他一式	レバーハンドル、丁番、他一式	



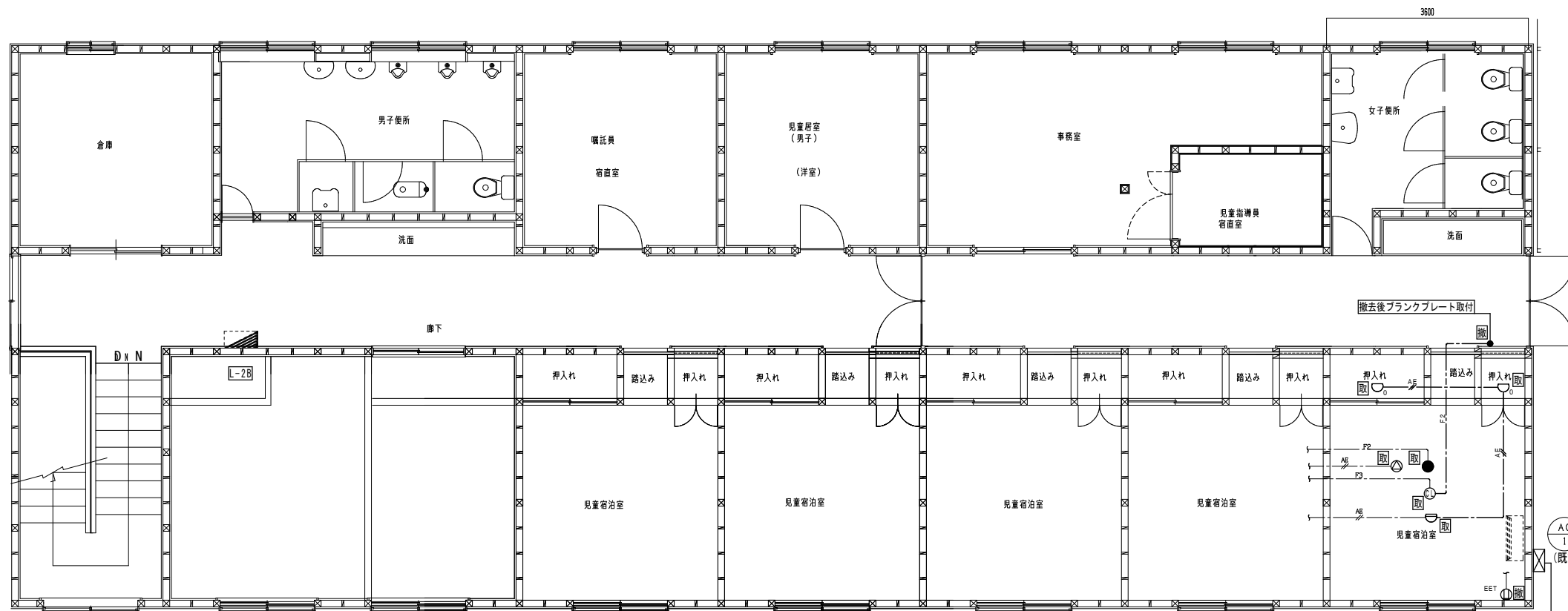




凡例

記号	名称	摘要
①	シーリングライト	
●	非常照明 ダウンライト	
●	埋込スイッチ 1P15A x 1	
⊙	天井埋込スピーカー SC6 - Hi - 3Vo - M	
△	差動式スポット型熱感知器 2種露出	
○	定温式スポット型熱感知器 特種露出	
---	天井裏ころがし配線	
F2	EM-EEF1.6-2C	撤去
F3	EM-EEF1.6-3C	撤去
AE	AE1.2-2C	撤去
⊖	撤去を示す	
⊕	取外しを示す	

特記なき細線の配線機器は工事の対象外とする。



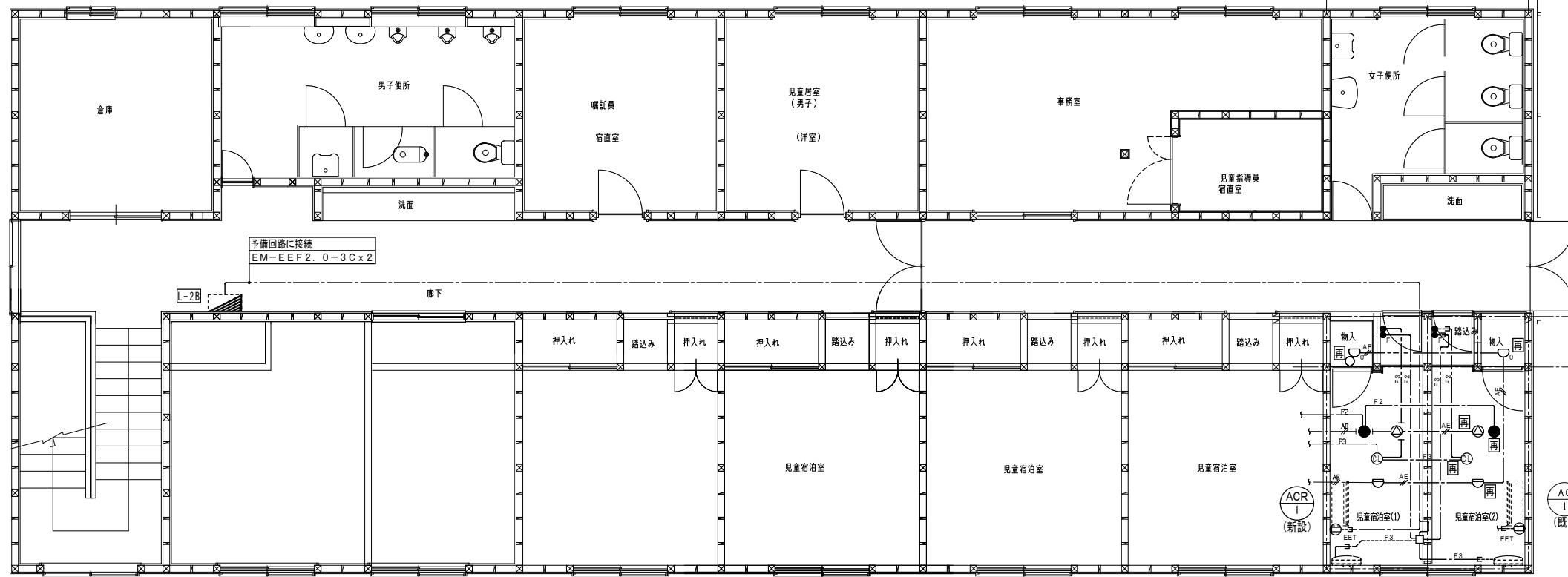
2階平面図 改修前

分電盤撤去 (外壁補修共)  
H1000W600D250

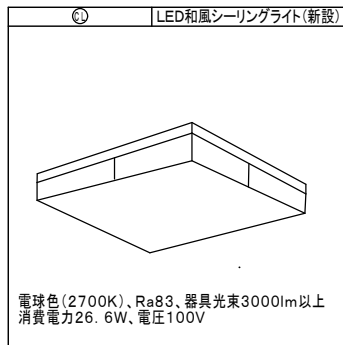
凡例

記号	名称	摘要
①	シーリングライト	新設は姿図参照
●	非常照明 ダウンライト	K0-LRS11-D6
●	埋込スイッチ 1P15A x 1	
●	全熱交換器操作スイッチ	機械設備支給品取付
⊕EET	埋込コンセント 2P15A x 1 E極EET付	AC用 FL+1800
⊙	天井埋込スピーカー	SC6 - Hi - 3Vo - M
△	差動式スポット型熱感知器 2種露出	
○	定温式スポット型熱感知器 特種露出	
---	天井裏ころがし配線	
---	メタルモールA型にて引下	
---	既存配線を接続	
F2	EM-EEF1.6-2C	新設
F3	EM-EEF1.6-3C	新設
2F3	EM-EEF2.0-3C	新設
AE	AE1.2-2C	新設
⊖	再取付を示す	

特記なき細線の配線機器は工事の対象外とする。



2階平面図 改修後



特記	訂正	1. 設計者 1級建築士登録 第272762号 野坂 英史	<b>SFD</b> 松本三友ファシリティーズデザイン 本社 1級建築士事務所登録 (松本) A第31281号 管理建築士 1級建築士登録 第212360号 丸山 功 〒390-0842 長野県松本市信友町 2-8-10 TEL. 0263(88)7348 本社 設計体制及び検査 検査員 責任者 担当者 丸山 須田 山崎 2020.10	工事名 松本児童相談所一時保護所個室化等改修工事 図面名 電気設備 平面図 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 図面番号 S20056D 図面番号 E-02
	1.	設計者 氏名		
	2.	設計者 氏名		
	3.	設計者 氏名		
	4.	設計者 氏名		
	5.	設計者 氏名		
	6.	設計者 氏名		

# 松本児童相談所一時保護所個室化等改修工事

## I. 工事概要

1. 工事場所	長野県松本市渡田986				
2. 建物概要					
建物名称	工事種別	構造	階数	床面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一
松本児童相談所	改修	木造	2階	544.32	乙種

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)					
工事種目	建物別	工事内容			
○空調設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●冷暖房設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○換気設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排煙設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○自動制御設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○衛生器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給湯設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○消火設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ガス設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給油設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○厨房機器設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○実験実習器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○浄化槽設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●撤去工事	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式

4. 設備概要(○印を付けたものを適用する)	
方法及び種別	設備概要
空調方式	・空気調和機 ・空冷式パッケージエアコン ●ルームエアコン
冷暖房方式	・温風暖房 ・温水暖房 ・F・F暖房 ・ファンコベクター
換気方式	○局部換気 ・中央換気
給水方式	・水道直結式 ・加圧式 ・高置タンク式(・上水・井水)
排水方式	・建物内汚水、雑排水(・分流・合流) ・建物外汚水、雑排水(・分流・合流) 浄化槽(・合併・単独) 放流先 ・公共下水
消火設備の種類	・屋内消火栓設備 ・消火器
ガスの種別	・都市ガス(発熱量 KJ/m <sup>3</sup> 、供給事業者名: ) ・埋め戻し土・盛土 ・液化石油ガス(発熱量100,000KJ/Nm <sup>3</sup> )

5. 指定部分 ○無  
有 (指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)

## II. 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
株式会社三友ファシリテーズデザイン	野坂 英史
主任担当技術者	担当技術者
意匠担当	
株式会社三友ファシリテーズデザイン 野坂 英史	
構造担当	
機算担当	
電気設備担当	
株式会社三友ファシリテーズデザイン 須田 潔	株式会社三友ファシリテーズデザイン 山崎 敏行
機械設備担当	
株式会社三友ファシリテーズデザイン 鳥井 清司	株式会社三友ファシリテーズデザイン 電原 衛

## III. 工事仕様

- 共通仕様
- 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁業務部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)、及び「公共建築設備工事標準(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

項目	特記事項
○機材等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図面に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承諾を受ける。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売・保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものについては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
21 あと施工アナー	
22 吊金物	
23 配管勾配	
24 管の保護	
25 管の埋設	

## 使用材料発注先調査

- 施工条件明示項目
  - 化学物質を含有する建築材料等
- 使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承諾を受ける。
- 公共建築工事標準仕様書の解説(設備工事編)の「執務並行改修」  
本工事に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
- 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂材、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
  - 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びシアンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
  - 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
  - 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
  - 上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
- なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。
- |              |   |
|--------------|---|
| ホルムアルデヒドの発散量 | 該当する建築材料  |
| 規制対象外        | ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品<br>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品<br>③下記表示のあるJAS規格品<br>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用<br>b 接着剤等不使用<br>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用<br>d ホルムアルデヒドを放散しない塗料使用<br>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用<br>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 |
| 第三種          | ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品<br>②建築基準法施行令第20条の6第3項による国土交通大臣認定品  |

## 5 ベーストシール剤

飲料水水系に使用されているベーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用していないこと。  
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼン、テトラチン、クロロピロス、フェノフルフル、ダイアジノ、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル

電気保安技術者を設置する。  
・配管(1. 2) ・冷凍空気調和機器(1. 2) ・熱絶縁(1. 2) ・建築鉄金(1. 2)

○設けない・設ける  
この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。  
○別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担する。  
・改修工事標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。  
・内部仮設設備等(・種・種) ・外部仮設設備等(・種・種)

## 6 電気保安技術者

7 技能士の適用  
8 監督員事務所  
9 工事用電力/用水等  
10 足場・さん積機

## 11 資材の保管

12 建設発生土  
13 埋め戻し土・盛土  
14 山留養生  
15 発生材処理

## 16 文字入札等

17 取扱説明板

## 18 総合調整

19 容量等の表示

## 20 耐震措置

21 耐震安全性の分類

設置場所	耐震安全性の分類			
	○特定の施設(甲種・乙種)		○一般の施設(乙種)	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (1.5)	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	0.6 (0.6)
地下階、一階	1.0 (1.0)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.4 (0.4)

(注) 1. ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。  
2. ( ) 内の数値は水塔等に適用する。  
3. 上層階の定義は次による。  
2～6階建以下の場合には最上階、7～9階建の場合には上層2階

- 重要機器とは下記に示すものをいう。  
・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防犯設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置  
・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器
- (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
- 改修工事標準仕様書第2編第5章による。
- 確認試験は、性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認試験□mmにて行う。  
○本工事に適用(第1種、第2種) ありと施工アナー-施工士による。(注)日本建築学会認定アナー-総合監理責任者  
併合物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする
- 22 吊金物  
23 配管勾配  
24 管の保護  
25 管の埋設  
給水管、消火管の埋設深さは□mmとする。又、ガスの埋設深さは□mmとする。

## 26 管の埋設表示

27 浴槽部の非破壊検査  
28 塗装  
29 機器の基礎及び振動絶縁効率

機器	基礎	振動絶縁効率
送風機	・標準基礎 ・防振基礎	・80%以上
空調用ポンプ及びボイラ給水用ポンプ	・標準基礎 ・防振基礎	・80%以上
排水用ポンプ及び小形給水ポンプユニット	・標準基礎 ・防振基礎	・80%以上

## 30 電線類

31 はつり  
32 保温及び消音内貼り

図示された屋外埋設管の分岐及び曲がり箇所には、コンクリート製埋設管を埋め込む。埋設部分は埋設管と同等とする。また、施工上生じた分岐、曲がり箇所についても同様とする。  
排水管を除く管には、埋設管用テープを設置する。  
検査対象  
・配管  
・煙道  
・換気  
・標準仕様書による  
検査の種類  
・RT  
・PT又はMT  
下記の金属線管は塗装を行う。  
・屋外露出  
・( )の屋内露出  
下記の保温を行わない(亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。  
・倉庫

区分	保温	外装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス	・
機械室	・アルミガラスクロス	・
居室・廊下など	・カラ亜鉛板	・
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板	・

区分	保温	外装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス	・
機械室	・アルミガラスクロス	・
居室・廊下など	・合成樹脂板カー2	・
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板	・

区分	保温	外装
屋外露出	○樹脂製化粧カバー	○樹脂製化粧カバー
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板	・

33 防凍保温  
34 試験  
35 他工事との取合い

区分	保温	外装
屋外露出	○樹脂製化粧カバー	○樹脂製化粧カバー
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板	・

36 設計温度  
37 居室騒音限界  
38 炊煙濃度計  
39 ばいじん測定口  
40 煙道  
41 ダクト  
42 風量測定口  
43 チャンバー  
44 防煙ダンパー

外気	室内				
	一般系統		個別		
湿度(RH)	湿度(RH)	湿度(DB)	湿度(RH)	湿度(DB)	湿度(RH)
夏季 34.5℃	64.1%	26.0℃	50.0%	℃	%
冬季 -6.4℃	76.1%	22.0℃	40.0%	℃	%

区分	A	特性(dB)	N	C	値

7 風量測定口  
8 チャンバー  
9 防煙ダンパー

10 ピストンダンパー  
11 弁類  
12 温度計  
13 圧力計  
14 瞬間流量計  
15 油断脚装置

16 配線  
17 換気設備  
18 排煙設備  
19 自動制御設備

1 ダクト  
2 風量測定口  
3 ダンパー  
4 排気ダクトのシール  
5 チャンバー  
6 耐火措置

1 ダクト  
2 排煙口の形式  
3 排煙口手動開放装置(開放及び復帰方式)  
4 排煙風量測定

1 中央監視制御装置  
2 中央監視制御装置の構成・機能  
3 電気計装工事の配線

1 大便秘器洗浄弁  
2 大便秘器タンク  
3 温水洗浄便座

1 洗面器  
2 洗面器  
3 洗面器  
4 洗面器

1 量水器  
2 量水器  
3 引込納付金等  
4 給水勾配  
5 建物導入配管

1 洗面器等の排水  
2 排水勾配  
3 排水試験継手  
4 40mm・100mm・150mm

1 弁類  
2 室内消火栓箱  
3 建物導入配管

1 システム  
2 機器の寸法

1 2 種  
2 集合装置  
3 転倒防止等  
4 メーター  
5 ガス漏れ警報器  
6 引込負担金  
7 電気防食  
8 建物導入配管

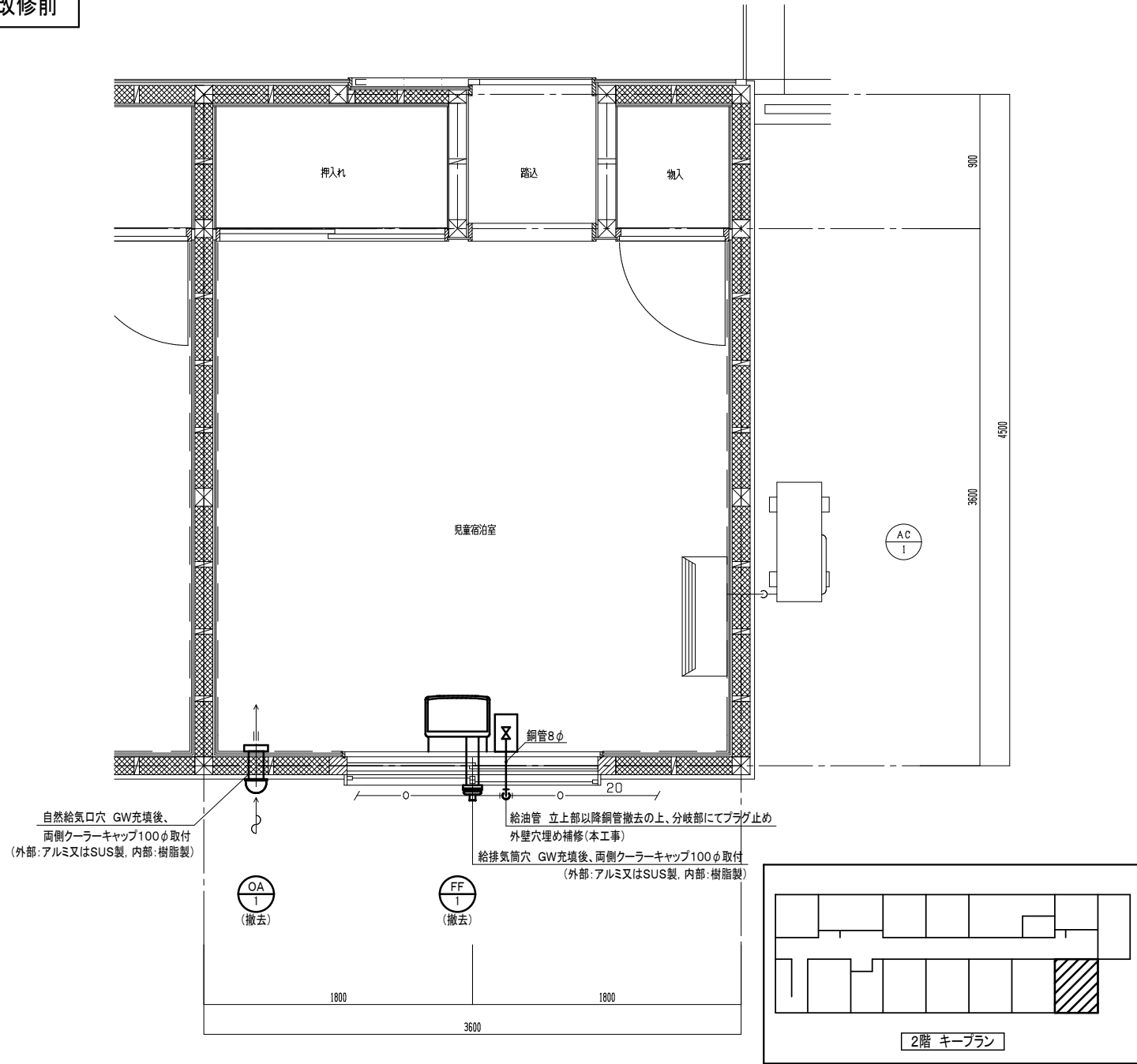
1 しゅん工事提出物  
2 定期報告  
3 電子納品  
4 特別管理産業廃棄物管理責任者  
5 改修工事特記事項

○(社)公共建築協会による「建築材料・設備機材等品質評価事業」における評価対象となる機械設備機材等

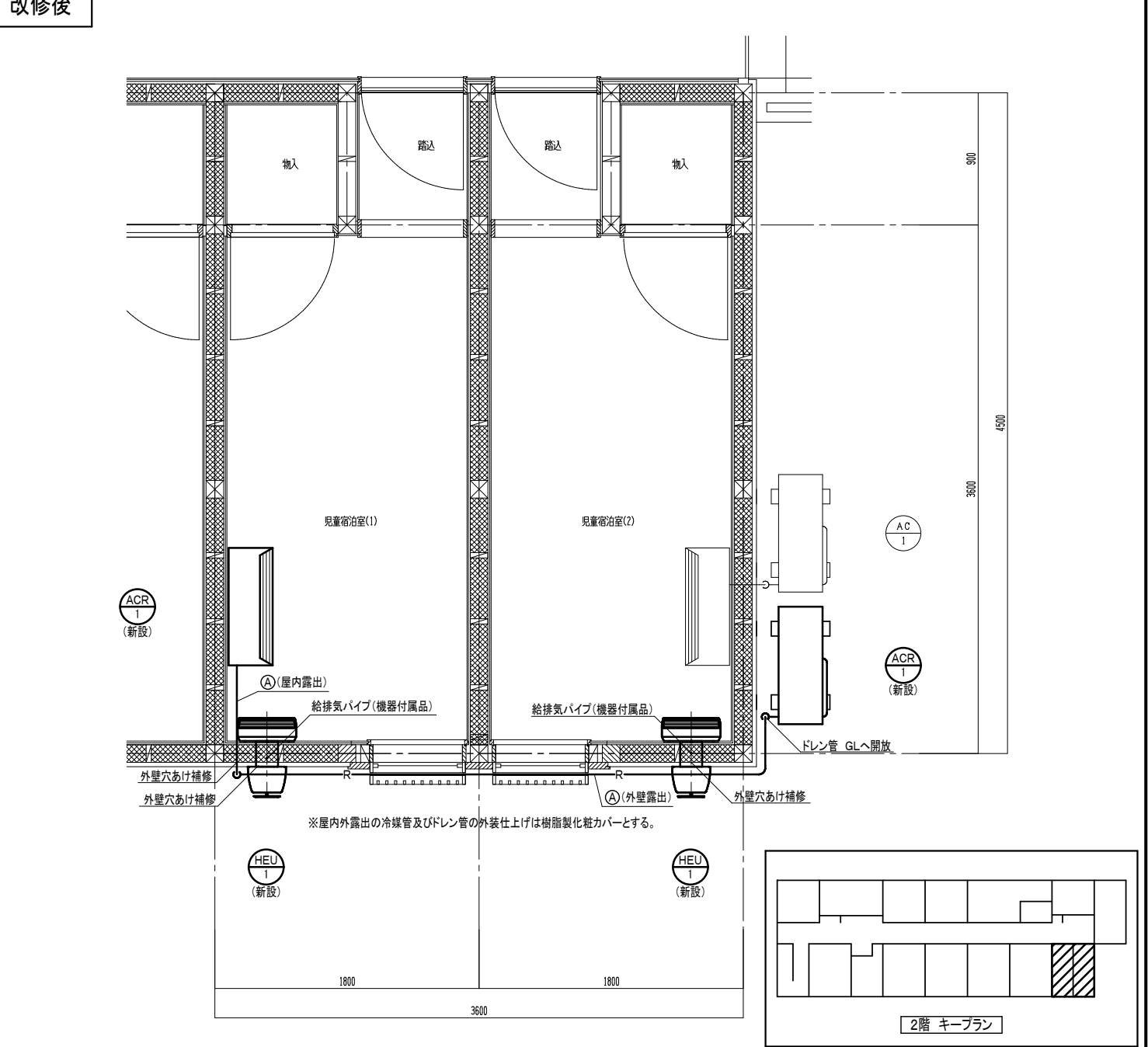
○その他監督職員の指示によるもの

1 提出書類等目録  
2 完成図(原図・製本・CADデータ)  
3 設計図(原図・CADデータ)  
4 工事施工関係書類  
5 工事完成資料  
6 保守管理資料  
7 官公庁提出書類等  
8 工具・予備品等  
9 引渡書  
10 試運転用油等( )の納品書等

改修前



改修後



撤去機器表

記号	名称	仕様	台数	電気容量			設置場所	備考
				φ	V	kW		
FF-1	FF式暖房機	型式 床置型 灯油式 暖房能力 4.2 kW その他 排気筒、バルブ収納箱共撤去	1	1	100	0.1	2階 児童宿泊室	FF-4210TL (U) サンボット
OA-1	自然給気口	型式 壁取付型、樹脂製、100φ用 その他 丸型ベントキャップ100φ、取付パイプ共撤去	1	-	-	-	2階 児童宿泊室	

既設参考機器表

記号	名称	仕様	台数	電気容量			設置場所	備考
				φ	V	kW		
AC-1	ルームエアコン	型式 壁掛型 冷房能力 2.2 kW 暖房能力 3.2 kW その他 ワイヤレスリモコン	1	1	100	-	2階 児童宿泊室	

記号	名称	配管材料
—○—	給油管	配管用炭素鋼鋼管

太線は撤去機器類、配管類及びダクト類を示す。  
細線は既設機器類及び配管類を示す。

新設機器表

記号	名称	仕様	台数	電気容量			設置場所	備考
				φ	V	kW		
ACR-1	ルームエアコン	型式 壁掛型 R32 APF5.8 冷房能力 2.2 kW (0.5~2.8 kW) 暖房能力 2.2 kW (0.4~3.9 kW) 圧縮機 0.6 kW 付属品 屋外機：室外機用樹脂製架台 屋内機：ワイヤレスリモコン	1	1	100	-	2階 児童宿泊室(1)	S22XTCXS-W (参考) (屋外機は地上設置) 室外機アルミ製保護カバーは建築工事
HEU-1	全熱交換器	型式 壁掛1パイプ型 セパレート取付型 (室内ユニット・室外ユニット) 風量 30 m <sup>3</sup> /h以上 (熱交換率60%以上) 付属品 専用給排気パイプ、専用ウェザーカバー、コントロールスイッチ	2	1	100	41W	2階 児童宿泊室(1)(2)	VL-100S3 (参考) コントロールスイッチ：電気設備に支給

注1) 送風機容量、送風量及び電気容量は参考値とする。  
注2) ルームエアコンの能力及び消費電力はJISC9612に規定された定格条件による。  
注3) 全熱交換器の能力及び熱交換率はJISB8628に規定された定格条件による。

冷媒管サイズ(参考口径)	冷媒管		ドレン管	配線
	液管	ガス管		
①	6.35φ	9.5φ	20VP	EM-CE2-3C+EM-CEES1.25-2C (電源線+室内外渡り線)冷媒管共巻

記号	名称	配管材料
—R—	冷媒管(液、ガス側)	断熱材被覆鋼管 JCDA0009 屋内外露出：樹脂製化粧カバー
—D—	ドレン管	硬質塩化ビニル管 JISK6741 VP

太線は新設機器類、配管類及びダクト類を示す。  
細線は既設機器類及び配管類を示す。